

第八節 結 言

朝鮮が二千万萬の人口を有し日本八千万人民の三分の一強の人員資源と地上地下幾多の資源を以て日本に産出せしむる重要鉱産物を總動員すること依りて三十三年戦争に協力献身し日本人亦朝鮮産業の興隆と朝鮮人の繁栄を念願として三十三年同様の努力を遂げしを為し朝鮮半島の文化産業經濟大に進歩し其の功績は顯著にして他国の殖民地に曾を見よるの盛況を有し得たり特に昭和十六年夏以後の半島を舉げての努力は華々しく其の成果亦大なるものあり此躍又飛躍直に終戦に値す然るに天賦に利せず敗戦の憂目を日韓両民族共に負度せり資源はく地域僅大の日本は資源四等国以下に墮せる醜ありしを六年たして再建の精神躍動し完備を見よるものあり且に及し資源に恵れあること日本以上なりと自認したる韓国民は三十八度線に画断されたる端に加ふるに独立せる文化生産技術者、幼稚種子のありて再建の事業成らざるの廿五年を為政者の腐敗、政黨者流の横柄は季朝永期以上の混濁汚穢なるものあり加へて動乱暴徒を以て環境の口一ラ一幾回と行く及覆し南北解共旧産業なく都市なく、農村なく、工業なく、只

0151

に流浪の大衆が明日に慄るに寒暑と暴戾せらるのみ 哀れなる故
人員物質共に必要なり且を勤かすべし 政治家の出現こそは此
の民族を救ふ唯一のものなるべし

0152